

20年度 2年生 前期 開講科目「ベンチャービジネス」

第1回 4月28日 (株)ナバ 代表取締役社長 高田容治 氏



(株)ナバの事業内容は、ネットワークサポート事業、情報ネットワークシステムの開発の他、2004年10月に発生した新潟県中越地震により被災した日本の国魚「錦鯉」の生産者の支援を目的とした、国際的な錦鯉市場の拡大・発展のための特定非営利活動法人 国際錦鯉普及センター(略称:INPC)を有志と共に設立。欧米の模倣ではなく、日本の伝統ビジネスの国際的展開のために活動中。

講義テーマは、「経営者としての歩みと一人の社会人としての意識」。自らのビジネスの歴史をたどり、経営者として、社会人としての思いを語って下さいました。高田社長の「ビジネス(business)とは自分が忙しくする(busy)に足ることである！」など、熱く語りかける言葉に、学生たちは感銘を受けた様子でした。



第2回 5月19日 (株)メイン 代表取締役 山尾百合子 氏

(株)メインの事業内容は、鉄道業務、駅長代理のアウトソーサー事業、教育・企画・実施・講師コーディネーター事業、イベント政策運営、人材派遣など。教育を柱とした、独自の人材サービスを展開。講義テーマは、「起業～現在～そして未来 人生は一度きりだから」。これは山尾社長のblogのタイトルでもあります。実は、山尾社長は、高校時代に芸能活動をしていたという経歴の持ち主。当時の経験から、「プロの仕事というものを感じたこと、世の中にはいろんな人がいると感じたことが私の原点」と語って下さいました。

第3回 6月1日 (株)リューノス 代表取締役 野元千也 氏

(株)リューノスの事業内容は、オリジナル web サービス事業。IT発展途上者のニーズにフォーカスし、ASP サービスを提供。講義テーマは「野元流 普通の人のベンチャー企業の作り方と普通の人のベンチャービジネスの立ち上げ方」。学校関連のシステム等、多分野に展開する事業の中でも、特にウェディングサポートシステム「1.5 次会.com」を中心に講義下さいました。この事業が本格的に稼動し始めたのが、今年の4月からということもあり、ニュービジネスを立ち上げる際の問題点、市場調査、資源の獲得、商品開発、パートナーシップの構築などの視点から、ビジネスが成立するプロセス、そして今後の展開などを、学生たちも現在進行形のケースとして理解し、各自勉強してきた競合他社との関係などについて、積極的に質問などをしていました。



第4回 6月15日 (株)ガイアックス 代表執行役社長 CEO 上田祐司 氏



(株)ガイアックスの事業内容は、インターネット上のコミュニティを中心とした新規事業の企画・実行、コンサルティング。コミュニティを中心とした戦略・構築・運営でのパートナーとしての事業支援など。最近では、話題となっている学校裏サイト対策や、インターネット監視サービスなどを積極的に行い、テレビ番組に度々取り上げられています。大学卒業後すぐに起業を志し、ベンチャーリンクを経て、24歳で起業するまでの経緯を、大阪弁を交えた独特の語り口で語って下さいました。「800万円の貯金で起業するのは、500円しか持たずにデートに行くようなもの」「モノポリーゲームを初めてやるのに、すぐにルールを把握していきなり勝ってしまいそうなそういう頭の良さをを持った人が欲しかった」など、学生は起業の難しさを身近な話題として感じていたようでした。



第5回 6月30日 松下運輸(株) 代表取締役社長 坂田生子 氏

松下運輸(株)の事業内容は、外食資材店舗配送、一般貨物配送、個人引越、オフィス移転、物流コンサルティング業務等。「さまざまな領域の事業において、顧客にモノを届ける“物流”というプロセスは、不可欠なもの。」と、学生に物流の概要について説明した上で、物流業界のニュービジネスについて、松下運輸の事業やその他の事例を用いて解説していただきました。

今回で終了となる「ベンチャービジネス」ですが、NBCの広報委員長を勤める坂田社長から、学生へこの講座の感想を質問する場面も…。学生達も特別講師の方々のお話を伺い、普段の講義では得がたい体験をしたようです。